

つれづれ

平成28年7月7日(木)

七夕



梅雨の中休み。このところ晴天が続いています。連日の猛暑、熱帯夜には参りますが、昨日から実施されている2年生の職場体験学習にとっては、晴天で何よりでした。

本日7月7日は七夕です。昨日、22時頃に夜空を見上げてみました。南の空には土星が明るく輝いていました。そのすぐ下にはさそり座のアンタレス、西側には、アンタレスに対抗するように赤い輝きを放つ火星が見えていました。

視線を南東方向にやると、七夕の主人公である、彦星と織姫星が明るく輝いていました。彦星はわし座のアルタイル、織姫星はこと座のベガです。小学校では、はくちょう座のデネブと合わせて、夏の大三角として学習しましたね。

ところで、七夕伝説は、奈良時代に中国から伝わりました。天帝（天の神様）の娘の織姫は、牛飼いの青年と結婚しました。ところが、その後、織姫は大切な機織りの仕事をきちんとしなくなってしまうのです。このことが、天帝の怒りに触れ、二人（彦星と織姫星）は天の川をはさんで兩岸に引き離されてしまいます。しかし、一年に一度だけ会うことを許されるのです。その日が7月7日なのです。この話が、日本で古来から伝わる棚織津女の話と融合し、日本の七夕伝説が作られたのです。

七夕は日本に入ってきた当初、貴族の星祭りであったと言われています。優雅で煌びやかなものであったに違いありません。時は流れ江戸時代になり、七夕は、習い事などの上達を願う庶民の文化として広がっていきます。

「お習字が上手になりますように」「三味線がうまく弾けるようになりますように」など、思い思いの願いを短冊にしたため、笹につるし天に向かい掲げたのでした。

さて、皆さんの願い事はどのようなものでしょうか。願い事は目標でもあります。今日は、夏の夜空を見上げながら、それぞれの願いが叶うように、努力することを誓ってみてはどうでしょうか。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

大阪市教育委員会 天下茶屋中学校で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>